



# Galileo

GSPre Pre Amplifier
GS150 Stereo Power Amplifier



**New G-Series** 







#### **Specifications**

## **GSPre Pre Amplifier**

オーディオ・リサーチ社がこれまで 40 年以上に渡り蓄積したアンプ制作のノウ ハウを投入し、豊かな音楽性の再現を実現させる新しいプリアンプ「GSPre」。 プリアンプ部の入力段は J-FET、バッファーに真空管(6H30)を使用。 真空管のヒーターは DC 点火、プレート電源は IC 及び FET を使用した安定化電 源を採用しています。

ライン入出力共にバランス・アンバランス入出力を備えると共に、バランス接続 では多くのコンポーネントと接続できるよう位相反転が可能です。 そして GSPre はフォノステージを備えており、さまざまなカートリッジの負荷 抵抗に合わせた調整が可能な独立した真空管回路となっています。 またヘッドフォン出力端子も備え、あらゆるヘッドフォンに対応するローノイ ズ・広帯域のバッファーIC を採用しています。

大型の表示パネルは、リスニングポジションからの見やすさも考慮しています。 ボリュウムコントロールにはノイズや劣化の起きないプログラマブル・ゲイン・ コントロールを採用し、フロントパネルのつまみはもちろん付属のリモートコン トローラーからスムースな操作が可能です。

アルミ製で重量感のある専用リモートコントローラーと 20A 対応電源ケーブル が付属します。





●形式 真空管プリアンプ

●入力系統 2 × アナログ・バランス (XLR)

3 × アナログ・アンバランス (RCA)

1 × フォノ (RCA)

●利得 ライン: 13.8dB フォノ:58dB

ヘッドフォン:11.3dB

●入力インピーダンス バランス: 150 k  $\Omega$  アンバランス: 75 k  $\Omega$ 

フォノ: (100/200/500/1K/47 k Ω)1 × アナログ・バランス (XLR)

●出力系統

 $1 \times アナログ・アンバランス (RCA)$ 

1 × ヘッドフォン端子

●全高調歪率 ライン: 0.02% (@2V RMS) フォノ: 0.05% (@3V RMS) ライン:125dB フォノ:94dB ヘッドフォン:110dB ● SN 比 0.8Hz $\sim$ 220kHz(-3dB)  $7 \pm 7:5$ Hz $\sim$ 80kHz(+/-0.4dB) ●周波数特性

アンプ部: 4×6H30 ●真空管

フォノ部: 2×6H30



### **GS150** Stereo Power Amplifier

パワーアンプの仕事である「微細な信号の増幅」「スピーカーの制御」を確実に実行する事を追求した、オーディオ・リサーチ社の新しいパワーアンプ「GS150」。同社のデザイン・アイデンティを踏襲しながらも、息をのむような美しくも繊細なメタル・ワークも高品位さを一層引き立たせています。

出力回路は最新でハイパワーな KT150 による高信頼の UL(ウルトラリニア)接続のパラレル・ブッシュプル構成、入力段には J-FET を使用したハイブリッド回路構成となっています。またドライバー段への電力供給は半導体で構成した安定化電源を使用しています。

フロントに備えた大型の針式メーターは、音声出力信号を可視化するだけでなく 各出力管のバイアス値を示す事が可能です。

また、フロントに備えたボタン操作よりLEDの明るさは3段階で調節が可能です。 背面には真空管の使用時間を表示する液晶カウンターも装備し、エージング時間 の目安が分かりやすくなっています。

真空管を保護するカバーには大型のファンを備え、真空管を物理的な障害から保 護するだけでなく放熱の役割も果たしています。

電源ケーブルには 20A 対応専用ケーブルを採用しています。





●形式 真空管ステレオ・パワーアンプ●入力系統 2 × アナログ・バランス (XLR)

入力インピーダンス 300kΩ

●出力系統2 × スピーカー端子(4Ω/8Ω)

●最大出力 155W+155W

●周波数特性 0.5Hz ~ 120kHz (-3dB@1W)

●オーバーオール NFB 14dB ●SN 比 114dB

● 真空管 ドライバー段: 4×6H30

出力段:8×KT150

●消費電力 最大出力時 900W / 無信号時 420W

## **GSi75** Integrated Amplifier

プリ部、パワー部、フォノステージ及び DAC 回路、ヘッドフォンアンプをひとつの シャーシに収めたインテグレーテッド・アンプ「GSi75」。

プリ部入力段には J-FET を使用、パワー部出力段にはハイパワー真空管である KT150 を採用し、信頼性の高い UL 接続パラレルプッシュプル構成により 75w+75wのパワーを発揮します。

DAC 部は高サンプリングレート対応の高級 DAC である PCM5142 と高品質で定評 のある PCM1792A を採用。

ハイレゾ・フォーマットの PCM 音源はもちろん DSD フォーマットにも対応し様々なデジタル音源の再生が可能です。

アナログ入力信号はライン入力 3 系統に加え、様々なカートリッジ負荷抵抗に対応 したフォノステージも備えています。

様々なアナログソース機器と最新のデジタルソース機器いずれの入力にも対応する ことでアナログとデジタルの融合を果たしています。

GSPre にも採用されている大型の表示パネルにより、リスニングポジションからの見やすさも考慮されています。

高級感のあるアルミ製専用リモートコントローラーが付属し、リスニングポジションからの操作が可能となっています。





●形式 真空管インテグレーテッド・アンプ●入力系統 3 × アナログ・アンバランス (RCA)

1 × フォノ (RCA)

3 × デジタル (光・同軸・USB 各 1)

入力インピーダンス 51kΩ

●出力系統2 × スピーカー端子(4Ω/8Ω)

1 × ヘッドフォン端子

●最大出力 75W+75W (4-8Ω)

●対応デジタルフォーマット 光(TOS): 16~24bit 44.1~96kHz

同軸(RCA): 16~24bit 44.1~96kHz USB: PCM 16~24bit 44.1~384kHz DSD2X,DSD1X

4.0Hz  $\sim 70$ kHz (-3dB@1W) ライン: 0.02% (@2V RMS)

●全高調歪率 ライン: 0.02% (@2V RMS) フォノ: 0.05% (@3V RMS)

・オーバーオール NFB 4dB◆SN 比 110dB

●周波数特性

● 真空管 ドライバー段: 2×6H30

出力段:4×KT150

●消費電力 最大出力時 600W / 無信号時 210W









#### オーディオ・リサーチ社

1970 年電子回路設計者であり熱烈なオーディオファイルでもあった William Zane Johnson(ウィリアム.Z.ジョンソン =通称 Bill Johnson)氏によって、アメリカ・ミネソタ州ミネアポリスに設立され、今では現存する真空管アンプメーカ 一として最年長を誇ります。

創業以来一貫して追求しているのは登録商標でもある「HIGH DEFINITION®」(=高精細)です。全帯域での高精細 感と圧倒的な躍動感、細部のニュアンスの自然さといった絶対的なクオリティの高さに表れています。

最新「ガリレオ・シリーズ」は他の製品同様に設計者 Ward Fiebiger(ウォード・フィーバイガー)氏、そしてサウンド・ デザイナーとして Warren Gehl(ウォレン・ゲイル)氏が行っています。設計者ウォード氏は30年以上に渡りオーデ ィオ・リサーチ社で設計に携わっており、創設者ジョンソン氏のフィロソフィーを受け継いでいます。またウォレン氏 は卓越したその聴力により一貫してオーディオ・リサーチ社のサウンド・デザインを守り続けています。

同社は「Fine Sounds Group\*」の一員となり、チーフ・ディザイナーLivio Cucuzza 氏率いるファインサウンズ・グルー プ・デザインセンター(イタリア)において、新生オーディオ・リサーチ最初の製品「Gシリーズ」に相応しい新たな筐 体意匠がなされ誕生しました。

#### \*[Fine Sounds Group]

Sonus faber, McIntosh, Wadia, audio research を傘下に持つ一大オーディオ・プロダクト・グループです。

